平成31年度　生涯学習・社会教育関係職員研修
実施報告④

実施日：令和元年７月11日（木）

○　演習「読んでもらえる広報のヒント」

下野新聞社　教育文化事業部　大平　正典　氏

始めに「しもつけ新聞塾」講師として各小・中・高校で出前授業をされている大平氏から、日々の新聞作成に関する説明がありました。次に、５Ｗ１Ｈに気をつけながら短い記事を書く練習を行い、伝わる文章、限られた文字数で事実をわかりやすく伝えることや、「見出し」の付け方のヒントも教わりました。さらに紙面の「割り付け」についても様々な手法があることを学びました。報道写真の基本についても、実際に大平氏が撮影した写真を元に、具体的なコツを聞きました。

受講者は、大平氏のわかりやすい説明に引き込まれ、記事としての文章の書き方だけでなく、日頃の新聞の読み方についても学びを深めることができたようです。

受講された皆さん、ぜひ各市町の広報紙等で実践してみてください！

○　情報交換

生涯学習課、公民館や生涯学習センターなど所属別に集まって、情報交換を行いました。

同じような立場で話合いがすすめられ、悩みを共有したり、お互いに情報を得たりすることができ、充実した時間になりました。

【アンケートより】

・何気なく出来事を並べるだけだったが、今回の話をもとに、もっと他の人に見ていただける内容の広報をつくりたいと思いました。
・見出しの付け方、リードの書き方など、具体的なことを学べたので、早速業務に生かせそうです。
・今後の広報紙づくりが楽しみになりました。
・写真の撮り方を実践してみようと思いました。
・他市町の方々との情報交換は、とても良かったです。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206　　e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp